

市史の構成

第一編 市のあらましと成り立ち

市のあらまし／市の成り立ち

第二編 自治

行政／議会／選挙／財政

第三編 産業

産業概説／農業／林業／水産業／
鉱業／商業／観光業

第四編 社会基盤の整備

都市計画／道路・橋梁／交通／港湾
と海運／住宅／水道事業／情報通信

第五編 防災と環境衛生

災害／防災／消防／治安／環境衛生

第六編 保健・医療と福祉

保健・医療／保険制度／福祉／
保健福祉施設

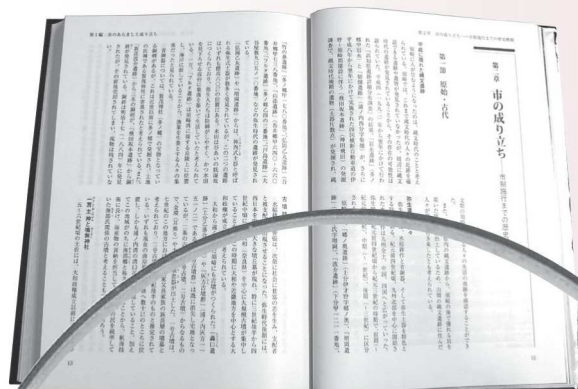
第七編 教育と文化

教育機関／学校教育／社会教育／
スポーツの振興／文化の振興

年 表

昭和 49 年～平成 26 年

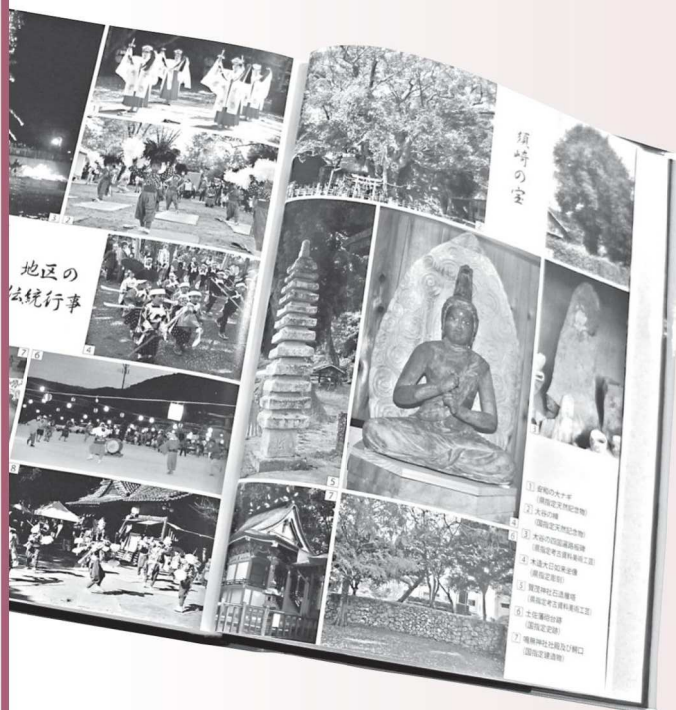
ちよつと
試し読み



第1編 第2章から
平成に現れた縄文遺跡

（前略）平成四（一九九二）年から翌年にかけて行われた「高知県遺跡詳細分布調査」の結果、「岩永遺跡」（多ノ郷甲岩永）と「切畑」（浦ノ内西分字菊畑）が、さらに平成八年から翌年にかけて実施された四国横断自動車道の伊野～須崎間建設に伴う「飛田坂本遺跡」（神田飛田）の発掘調査で、縄文時代晩期の遺物（土器片数点）が発掘され、縄文期の須崎における人々の生活の痕跡を確認することができた。

貴重な写真や
資料も多数掲載



市史ができるまで

編さんについては、市内の有識者等により構成された編さん委員会が、企画・構成を決定し、市関係機関を中心に資料収集を行いました。執筆・印刷製本については専門業者に委託しました。

平成23年度から事業を開始し、構成の検討や校正作業など41回に及ぶ編さん委員会を経て、平成27年1月に完成しました。

須崎市史 平成二十六年編

B5版 全552ページ

発行日 平成27年1月

発行部数 1,500部

販売価格 3,000円

販売場所 生涯学習課
市民文化会館

図書館
各公民館

各販売場所で

内容を確認することができます。

